令和元年度 第3回博物館協議会 (web 用)

日 時 令和2年1月23日(木) 午後1時30分
場 所 安城市民ギャラリー2階会議室
出席委員 高山 忠士 会長
加藤りせ子 副会長
鈴木 健吾 委員
荒井 信貴 委員
市川とし子 委員
永谷 史朗 委員
事務局 近藤 芳永 生涯学習部長
近藤 一博 文化振興課長
片岡 晃 安城市歴史博物館館長
伊藤 基之 学芸係長
三島 一信 専門主査
田中 里張 主査
野上真由美 主査
坂本 晃基 主事
石川 明良 指定管理者
安祥文化のさと地域運営共同体
代表企業西三河エリアワン取締役部長
都築 秀行 指定管理者
安祥文化のさと地域運営共同体総括
早川 博貴 指定管理者
安祥文化のさと地域運営共同体副総括
井上宗一郎 指定管理者
安祥文化のさと地域運営共同体副総括
閉 会 午後2時50分

<市民憲章昭和>

事務局	皆様、こんにちは。本日はお忙しい中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。 私は、本日の進行役を務めさせていただきます文化振興課学芸係の事務局と申します。よろしく願いいたします。 協議会の開催に先立ちまして、安城市民憲章の唱和を行いますので、
-----	---

	委員の皆様のご起立をお願いします。 (唱和)
事務局	ありがとうございました。ご着席ください。

<開会のことば>

事務局	ただいまから、博物館協議会を開催いたします。
-----	------------------------

<あいさつ>

事務局	それでは「2 あいさつ」に移ります。会長よりご挨拶をいただきます。高山会長、よろしくお願いします。
会長	(あいさつ) こんにちは。例年に比べて穏やかといえば穏やかかもしれません。所用があつて、つい先日、南明治八幡社の周辺に行つたのですが、雰囲気ガラッと変わつて「ええこんなに変わったのか」と驚きました。住環境もよくなり、まちづくりがされていく一方で、安城のまちができた頃の古い街並みがほとんど消えかかつていて、こうしてだんだん消えていくんだなとともに、南明治の区画整理の記録がどこまで残してあるんだろうと思ひました。博物館とは直接関係ないかもしれませんが、古くからの安城のまちをつくつてきたものがみすみす消えていくのが残念で、きちんと記録に残ってくれるといいなと思ひました。博物館にある研究の部門が現状のスタッフでどこまでできるかわからないけれど、少しでも現状の記録を残してくれたらなと思ひます。皆様の忌憚のないご意見をいただき、4月の新しい博物館の運営に向けてよりよいものになれたらなと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

<協議事項>

事務局	それでは「3 協議事項」に移ります。議事の取り回しについては、「安城市歴史博物館の管理及び運営に関する規則」第19条の3に「会長は、会務を総理し、会議の議長を務める」となつておりますので、高山会長にお願いします。
会長	それでは協議事項に入ります。「(1) 令和元年度開催済事業報告」について、事務局からの説明をお願いします。

<(1) 令和元年度開催済事業報告>

事務局	(説明) *指定管理者担当部分は指定管理者が説明
会長	事務局の説明が終わりました。質問等がございましたらお願いします。
A委員	「文書史料集成」は整理された資料を集大成したものなのでしょう

	か。また、整理した資料のなかで重要なものを集めたものなのでしょうか。
事務局	もともとは本證寺の古文書が近世以降の資料群として大変貴重なものであることと、市史で網羅できなかったところを「文書史料集成」として報告したことから始まりです。資料整理活用事業は文化財保護業務として位置づけられています。古文書の専門職員が学芸係にいます。学芸係が担当しています。本證寺の古文書以外にも出したい資料があるので、特別展で展示し、図録では掲載しきれなかったものを補完する形で出しています。
A委員	協議会資料を読んでも、いつ、どのような資料かということを書いてもらえると、参考資料として役に立つかなと思います。
事務局	現状は展示と調査の業務で手一杯ですが、資料があることを集約させたものを「文書史料集成」として出版しています。今後は内容のデジタルアーカイブ化をめざしていきたいですが、資料群が膨大であり、まだ市史の編纂が終わった後になって開館当初のうまく整理されていない資料に手をつけているのが現状です。難しいところですが、期待にこたえられるようなことをやっていきたいです。
B委員	先回視察に行った刈谷市歴史博物館でもアーカイブ化を目指したいと話していましたが、特に古文書を読めるか、確認できる人がどれだけいるかという話になるので、確かに大変なことだと思います。本證寺の資料を出していますが、文書資料の整理と共に計画的に進め、かつ継続的な体制をつくるのが課題だと思います。今後も博物館の重要な収蔵品の紹介を継続してもらいたいです。
C委員	文書資料を出していくことがどれだけ苦勞するかはよく分かります。一方で、そのやっていただいていることが世間に知られないのが惜しいなと思います。継続的な活動をしていくのが難しいので、大学院等と連携してもいいのではないのでしょうか。連携によって研究者へ機会を与え、資料を整理できるのかなと思いました。
事務局	中京大学との連携を考えていますが、大学の要望と合わないこともあり、現状では行われていません。
事務局	文化財係では現在寺院の悉皆調査を委託で実施しておりますので、古文書などの整理の方でも同じような委託ができるか、今後の課題として検討していきたいと思っています。
事務局	協議会資料には資料群がいつ頃のもので、どんな内容であるかを付記したいと思っています。

会長	他によろしいですか。無いようですので、次に移ります。「(2) 令和2年度事業計画」について、事務局からの説明をお願いします。
----	--

< (2) 令和2年度事業計画 >

事務局	(説明)
会長	事務局の説明が終わりました。質問等がございましたらお願いします。
会長	記念講演会・歴博講座は定員80名と謳ってあるが、廊下に溢れんばかりの聴講者が見えることがあり、嬉しい反面、安全面が心配です。別室でモニターを通して聴講するなど工夫してはどうでしょうか。また、企画展「火消しまいる」の際にエントランスで大型モニターに流した映像は良かったですが、他施設でやってこそ宣伝になるのではないのでしょうか。アンフォーレの大型モニターやデジタルサイネージ等を用いれば、展示の宣伝をする上で有用だと思います。
指定管理者	上映会では別室対応をしたことがありますが、講座については対策を協議していきたいです。他施設でのPRは関係各所に話を伺いながら素材を作成し、宣伝できるように進めていきたいです。
D委員	学校としては、再オープンを楽しみにしていますので、子どもたちにも宣伝していきたいです。新聞は開かないと情報が得られないが、テレビやラジオでふと耳に入る情報は印象に残るので、積極的に進めるのもいいかなと個人的に思いました。展示について思うのが、専門的な方も見られるでしょうけど、ふらっと博物館に寄ったとき、キャプションの冒頭から難しい説明が書かれ、読むのに時間がかかってしまいます。最初は簡単な説明、その後ろに詳細を載せるという二段構えにすると短時間でも展示資料を見ることができると思います。広報に関連すると、本物を見れること、触れること、写真が撮れることはいいことです。重要なものはレプリカでも構いませんが、展示資料と一緒に写真をとるコーナーがあると、誰かが発信することで影響力があると思います。また、レビューをするとプレゼントがもらえる企画があると、それにつられて動き、拡散してくれるでしょう。歴史博物館が人々に知ってもらえるといいなと思いますので、そのようなことが叶ったらなと思っています。
会長	他によろしいですか。無いようですので、これをもちまして協議事項を終了いたします。ありがとうございました。

<その他>

事務局	慎重審議、どうもありがとうございました。 「3 その他」に移ります。事務局から説明をいたします。
事務局	(説明) 改修工事について進捗状況を説明
事務局	以上を持ちまして全ての予定が終了しました。最後に委員の皆様から、何かございますでしょうか。
C委員	先日の研修で刈谷市歴史博物館の常設展示は無料という話を伺いました。なぜ無料にしているのかという質問に対して、博物館法第23条に基づき原則無料としているという説明でした。ただ、条文では「博物館の維持運営のためにやむを得ない事情がある場合は、必要な対価を徴収することができる」ともあるため、必ずしも無料でなくてはならないことはないです。日本では7割程度が有料にしている中で、安城市が200円にしているのは収益的にインパクトがある内容ならいいのですが、運営上メリットがないのであれば門戸開放の意味でも無料化を検討する余地があるのでしょうか。
事務局	本館は開館当初から200円で、30年間据え置きしております。かつて無料化を検討したことがありましたが、市の意向に合わずそのままとなりました。手数料や使用料の見直しは定期的にしており、消費税増税に伴い増額するか検討しましたが、据え置きで対応となりました。ただ、リニューアルに伴う施設の維持のために増額するのであれば一定の理解があるだろうと思います。リニューアルしないなら無料にする、リニューアルして有料でも見ごたえがある、という二つの解釈があるのかなと思います。なお、4月から安祥文化のさと会員は常設展示を無料にします。安城市は早くから中学生以下は無料にしております。博物館法の無料規定は、図書館法にある「無料で利用できる」という定義が博物館法制定の際あまり議論されず残っていった条文という理解があるのかなと思います。条文に従えば無料にすべきという考えもありますが、リニューアルに際しては今後検討していくことになると思います。
C委員	刈谷や大府、高浜、碧南、西尾では常設展示は無料でした。有料展示は一般の見学者にとっては、有料ならではのものを期待してしまいます。どこかの博物館の方がおっしゃったと思うのですが、無料にすることで期待されない中でチャレンジができる、という話のように、人もいない中で常設展示を変えていくことは難しいことだと思いますが、今後博物館の運営において検討が再度されるといいかなと思います。

事務局	<p>現在収蔵品展などの企画展は無料であり、今後有料特別展として再企画する参考として、チャレンジ的な展示内容も視野に入れて企画しています。今後魅力ある博物館をめざし、展示も含めて指定管理と一緒にやっていくなかで、展示を見てミュージアムショップで買って、喫茶でおいしいものを食べることができる滞在型のゾーンにしていきたいことはお互いよく話しています。そんな魅力ある博物館を来年度以降やっていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
-----	---

<閉会のことば>

事務局	<p>無いようですので、閉会のことばを生涯学習部長から申し上げます。</p>
生涯学習部長	<p>本日はお足元が悪い中、会議にご出席いただきましてお集まりいただきありがとうございました。歴史博物館が市民により親しまれて、近い距離であってほしいなと願うわけですが、その管理・運営を指定管理者と市でハイブリッドな運営を試みてきております。最初の指定管理の委託が3年間過ぎまして、2期目に入りまして、評価の方も市民と親しむ意味では少しずつではありますが前進しておるところかなと思っております。本日は貴重なご意見をいただきましたので、今後の管理・運営に活かしていきたいと思っております。年度が替わりますけれども、ご期待をいただきながら準備を進めて参りますので、今後ともよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。</p> <p>長時間にわたり慎重かつ活発なご審議・ご議論をいただき、ありがとうございました。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p>